

(社) 日本原子力学会 標準委員会 基盤・応用技術専門部会
第1回 有効高さ評価モデル分科会 (A1SC1) 議事録

1. 日時 2009年1月16日(金) 14:00～16:00
2. 場所 日本原子力発電(株)本店 第8会議室(神田美土代ビル1F)
3. 出席者(順不同, 敬称略)
 - (出席委員) 北林(主査), 市川(副主査), 込山(幹事), 近藤, 安達, 山澤, 館野, 沼田, 大場, 佐田, 福田, 筑紫, 永井(清), 鈴木, 永井(晴) (15名)
 - (代理委員) 綿田(安田代理) (1名)
 - (欠席委員) なし
 - (傍聴者) 三上
 - (事務局) 岡村
4. 配付資料
 - A1SC1-1 標準委員会の活動状況
 - A1SC1-2 人事について
 - A1SC1-3 シミュレーションの信頼性に関する技術ガイドラインについて
 - A1SC1-4 安全解析用放出源有効高さの数値シミュレーションモデルによる評価基準の制定について
 - A1SC1-5 有効高さ評価モデル分科会 全体スケジュール(案)
 - A1SC1-6 基本方針(案)及び検討課題の抽出(案)
 - A1SC1-7 実施基準(案)
 - A1SC1-参考1 分科会名簿
 - A1SC1-参考2 標準委員会, 専門部会スケジュール

5. 議事録

(1) 出席委員の確認

事務局により 16 名の委員中，代理委員を含めて 16 名の委員の出席があり，定足数 (11 名以上) を満足していることが確認された。

(2) 自己紹介

分科会委員の自己紹介があった。

(3) 標準委員会活動及び経緯の説明

事務局より A1SC1-1 に基づき標準委員会の活動状況・組織，規約類について説明が行われた。

(4) 分科会主査の互選と副主査・幹事の指名

分科会の役員が次のとおり決定された。

- ・出席者の無記名投票の結果，北林委員が主査に選出された。
- ・北林主査より市川委員が副主査に指名された。
- ・北林主査，市川副主査より込山委員が幹事に指名された。

(5) 分科会代表者の選任

北林主査より基盤・応用技術専門部会への分科会代表者として沼田委員を選任したい旨提案があり，承認された。

(6) シミュレーションの信頼性タスク（仮称）への委員選任

込山幹事より A1SC1-3 に基づき基盤・応用技術専門部会の傘下にシミュレーションの信頼性検討タスクが設置される予定である旨説明があった。また，有効高さ評価モデル分科会からも委員の選出を要請されているため，佐田委員を選任したい旨提案があり，承認された。

(7) 分科会設置の主旨及びスケジュール説明

込山幹事より A1SC1-4 及び A1SC1-5 に基づき，分科会設置の主旨，及び全体スケジュールが説明され，以下のとおり方針を決定した。

- ・数値シミュレーションモデルにて濃度から被ばく線量計算まで行うことも想定されるが，本分科会で策定する実施基準の適用範囲は，風洞実験の代替手段として有効高さを求める範囲までとし，線量を算出する数値シミュレーションモデルは次のステップとした。
- ・分科会活動については検討状況に応じるが，基本的に 2009 年秋頃まで約 1 回／月で進め，実施基準の制定目標は 2010 年 10 月頃とすることとした。

(8) 課題検討

込山幹事より A1SC1-6に基づき、実施基準を策定するにあたり検討すべき課題及びその対策案について説明があり、以下のとおり方針を決定した。

- ・実施基準を策定するにあたり、併行して気象指針を改訂して頂くよう原子力安全委員会事務局に要請して頂くこととした。
- ・課題を審議するにあたり、実用化されている数値シミュレーションモデルを基礎として実施基準を策定することとした。
- ・他の数値シミュレーションモデルが過度に排除されないように、記載を工夫することとし、新規の数値シミュレーションモデル導入については、基準改訂等で対応して頂くこととした。
- ・審議の順序として、検討の前提条件に係わる内容である「数値モデルの適用範囲指定（課題3）」、「具体的な適用時の対応（課題4）」を最初に審議することとし、全体スケジュールを見直すこととした。
- ・濃度評価のための格子や建屋の解像度については、煙軸濃度を計算できること、及び建屋を解像できること等の観点から検討することとした。
- ・数値シミュレーションモデルの適用範囲は、原則として風洞実験と同じであり、中立を対象とすることを確認した。
- ・評価対象範囲を検討するため、既設発電所の最短評価距離を取り纏めることとした。
- ・記載内容以外の検討課題及び対応方針については各委員にて検討して頂き、1月末までに込山幹事に連絡することとした。

(9) 評価基準（案）

佐田委員より A1SC-7に基づき評価基準（案）について説明があり、以下のとおり方針を決定した

- ・数値シミュレーションモデルの基準を策定するにあたり、現在改定中の風洞実験実施基準を、風洞実験分科会に参加していない委員に送付することとした。
- ・数値シミュレーションモデル実施基準については、将来的に風洞実験実施基準に置き換わるものになり得ることを確認した。

(10) 今後の予定

第2回分科会を3月17日（火）に開催することとした。

以 上